

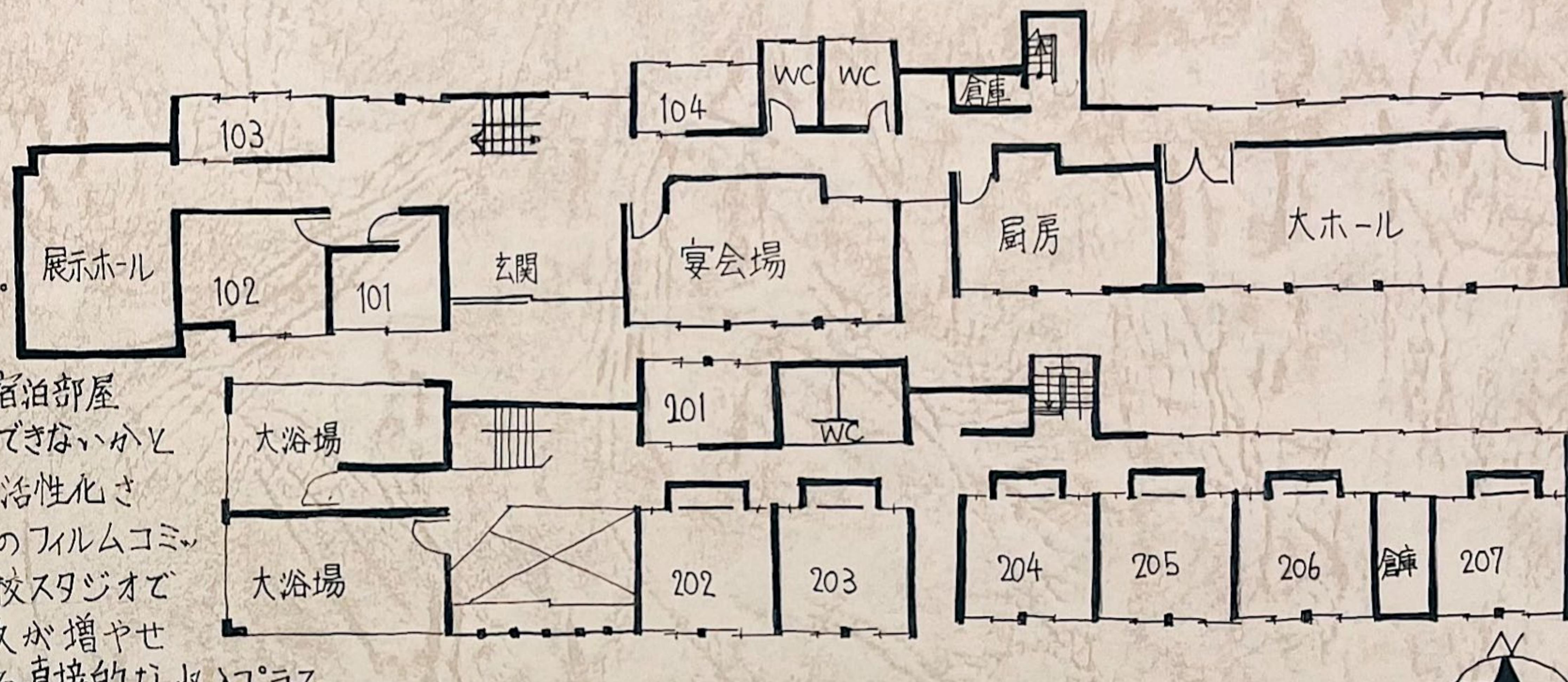
未来へつながる小鹿野廃校プロジェクト

管理棟

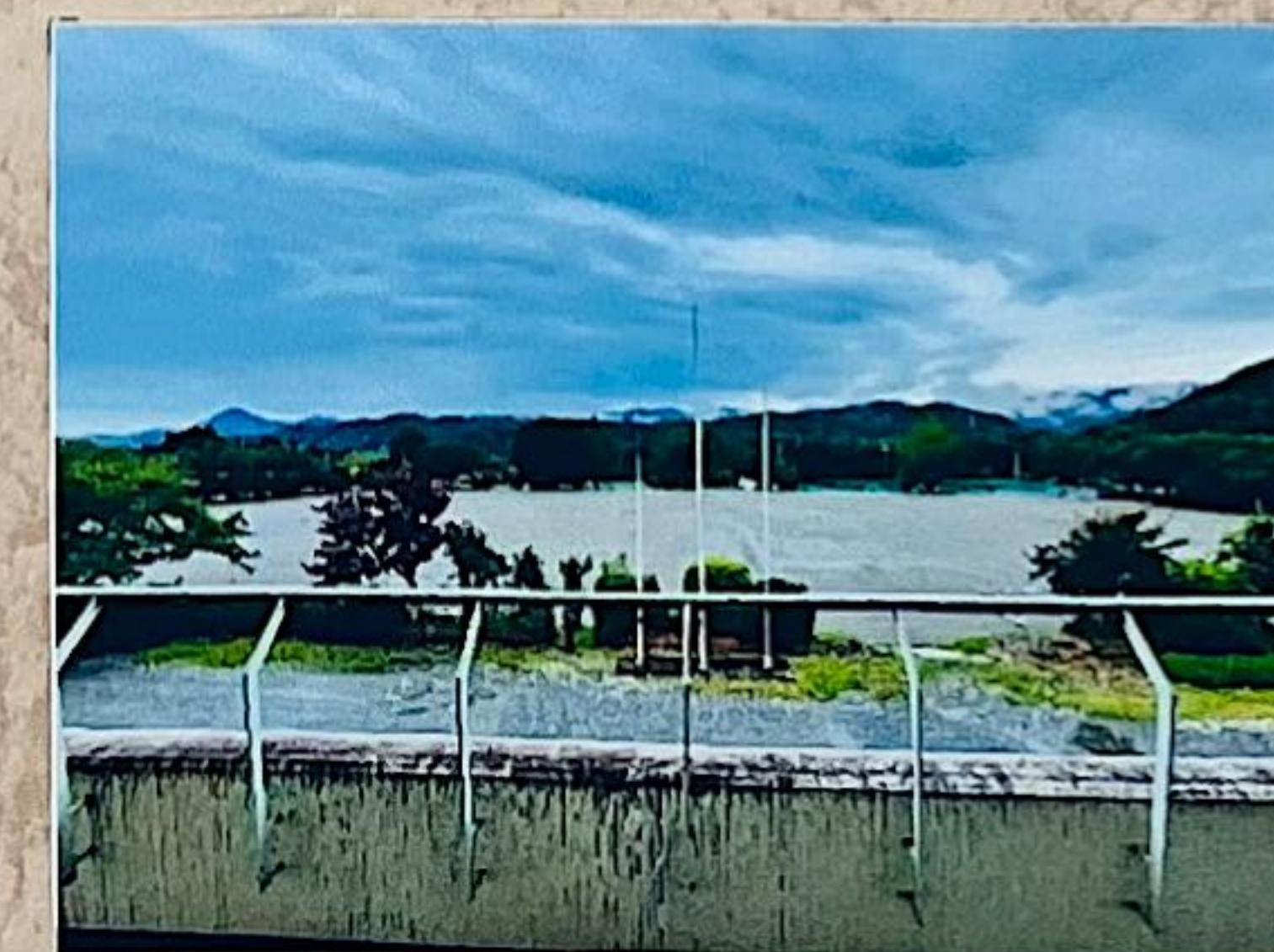
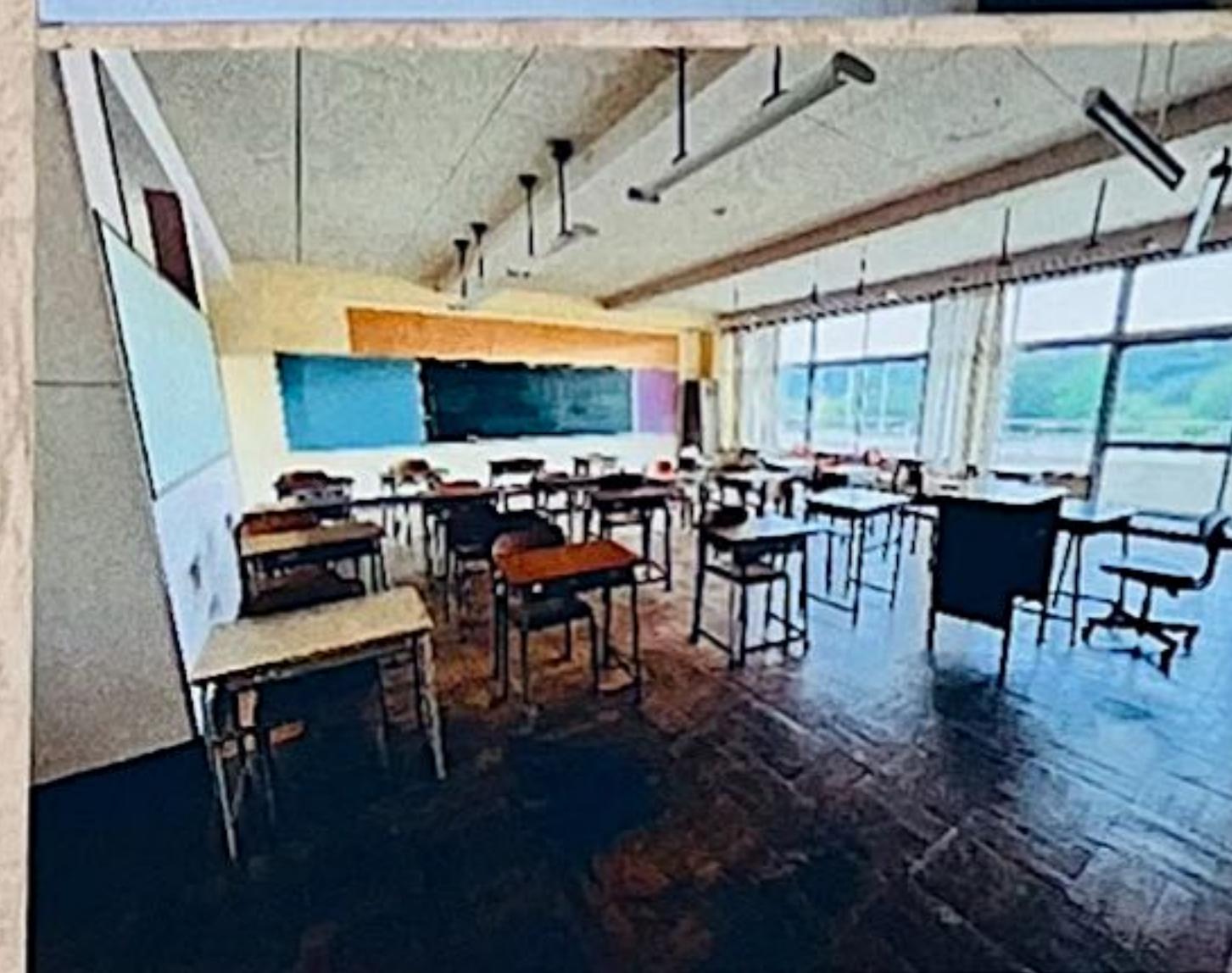
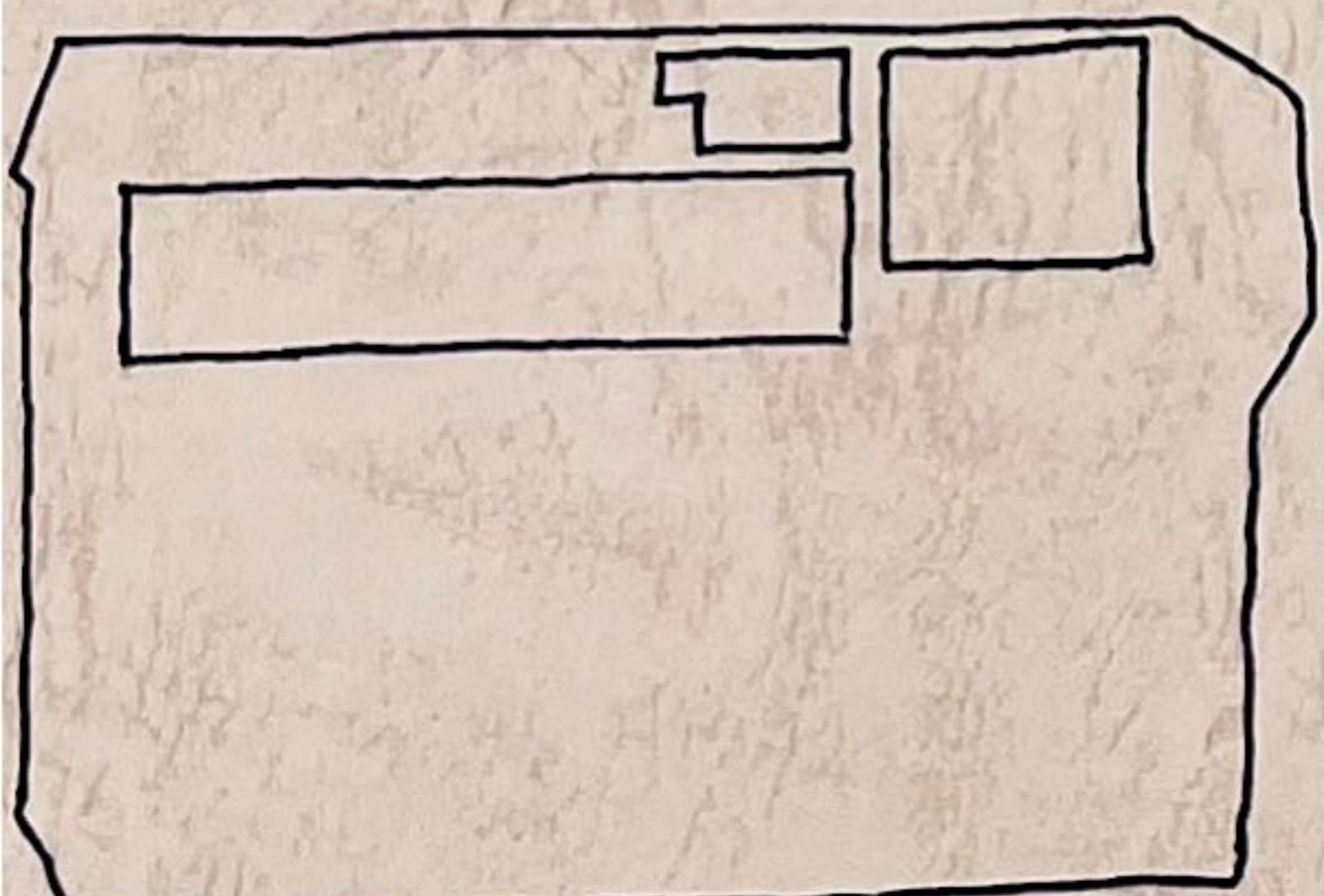
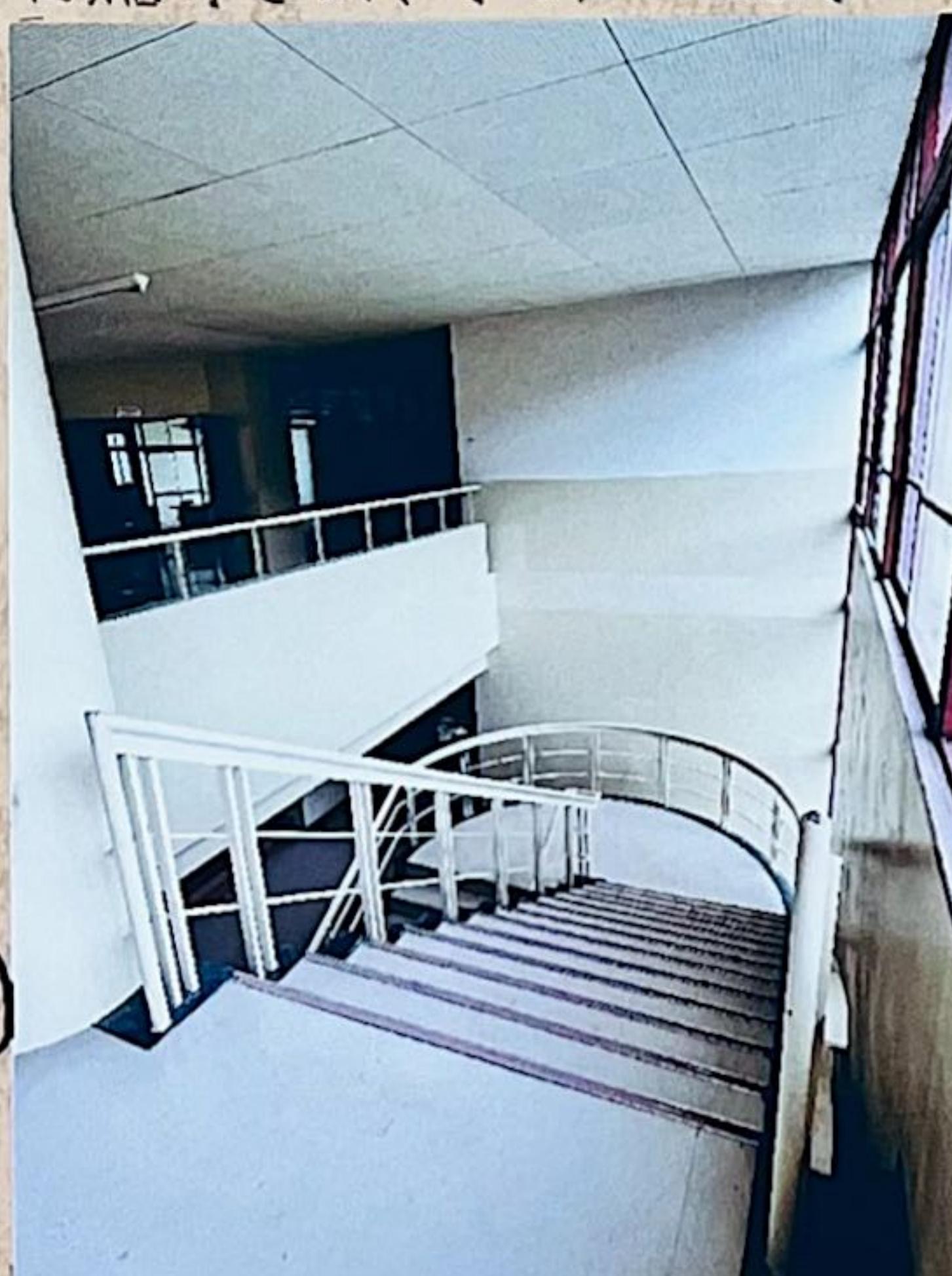
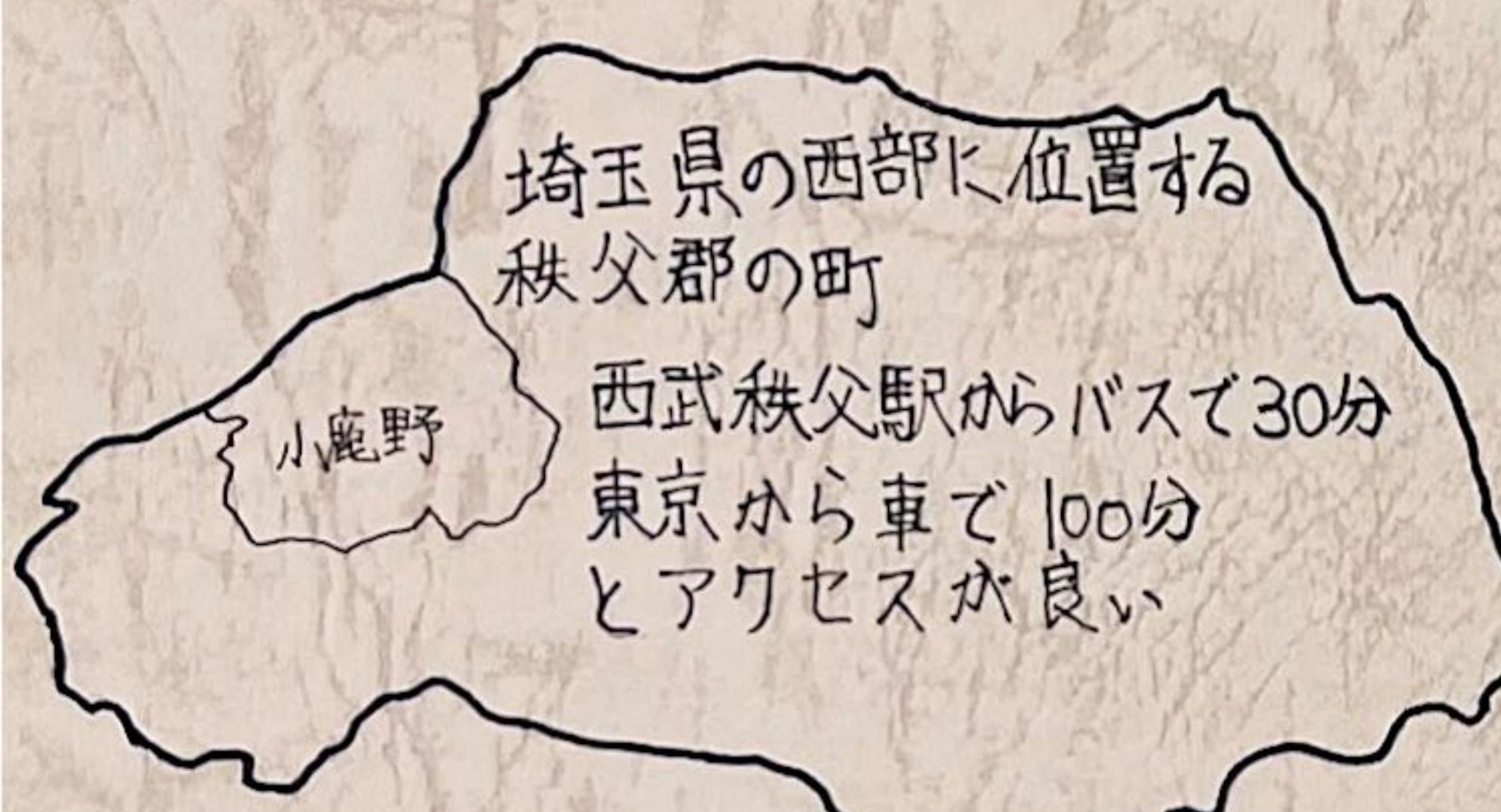
空き不動産として今回、小鹿野町旧三田川中学校 校舎を宿泊体験村へと用途を変更し、活用できないかと考えた。施設の基本情報は 建築年度 1975(昭和50)年度。

施設規模 2481m²。現在は廃校プロジェクトの一環で フィルムコミュニケーション事業を中心とした利用用途としている。今までに映画1本、テレビドラマ・ロケ6本、CM 26本と多くの実績を上げてきた。しかし撮影向けのスタジオであるわけではなくため使われなければただの廃校としてひっそり

とあるだけだ。そこで提案するのが宿泊体験村だ。校舎の改案・改修工事を行い、一般教室を宿泊部屋、特別教室は宴会場やホールとし、都市部の学校の林間学校・少年クラブの合宿施設として運用できないかと考える。廃校活用にあたっての運営方式は 第三セクターにし、半官半民で小鹿野町を活性化させたい人たちでつくっていけないかと思う。宿泊体験村へと改修はするも現在実施中のフィルムコミュニケーション事業との両立が図れるようにしたいため 最大の売りは撮影もできて泊まる廃校スタジオでターゲットをしぼり 林間学校などの大型イベントにも対応することで 現在よりも利用日数が増やすると推測する。また、数多くの出演者・スタッフの来町により 施設から得られる直接的な収入プラス町内の飲食店の利用による間接的な経済効果が期待できる。さらにロケ地として選ばれることにより映像等を通じて小鹿野町が全国的に紹介され、町の知名度向上・観光客の増加等さらなる相乗効果が望める。



1階・2階平面図



配置図